

各部会でテーマ、活動

釧路あすなるクラブ新役員 就任報告で来社 今年で50周年

中小企業経営者らの異業種交流を目的とした経済研修団体「釧路あすなるクラブ」第50

期の新役員が30日、釧路新聞社を訪れ、就任報告を行った。同クラブは1962(昭和37)年創立。

紀、新たな飛躍。

この日來社したのは1月21日の総会で承認された齊藤政行会長と草島守之副会長、中島康秀事務局長の3人。齊藤会長は「昨年は外に行く研修が多かったが、今年は手作りのテーマを各部会に考えてもらい活動したい」と意気込みを語り、草島副会長も「創立当初とは時代背景も社会状況も異なる。今年は半世紀を振り返るとともに、新しい転換への基点として」と述べた。

釧路キャッスルホテルで50周年記念式典を実施。また、式典に先立ち同日午後4時から、同ホテルで記念講演会を開く。北海道開発局港湾空港部長の栗田悟氏を講師に招き、東北海道における港湾や空港の役割について講演して



來社した齊藤会長(中央)と草島副会長(左)、中島事務局長(右)

「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す」を信条に毎年、年間テーマを定め、それに沿った例会活動を展開している。今年の年間テーマは「半世紀、新たな飛躍」。この日來社したのは1月21日の総会で承認された齊藤政行会長と草島守之副会長、中島康秀以上、再任事務局次長 及川雅順、吉川克義、関川孝輔以上、新任

○:同クラブは2月18日、

(道永竜命)

もつ。講演会は一般市民も聴講可能。事前申し込みなどは不要で、入場は無料。問い合わせは実行委員会事務局の木内慎太郎さん0154(41)2966(木内印刷内)へ。